

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市名	岐阜県		
高校入試 担当部署名	岐阜県教育委員会 学校支援課 総合支援第二係		
TEL	058-272-1111 (内線3678)	FAX	058-278-2822
URL	https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	各務真弓 (所属: NPO法人可児市国際交流協会)
--------	---------------------------

この色のセルは、昨年度と表記方法を変えた設問です。

この色のセルは、今年度新しい設問です。

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
2. 国籍要件の有無	外国籍生徒のみ	外国籍生徒のみ	一部条件あり	一部条件あり	日本籍生徒のみ	日本籍生徒のみ						
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択)		②定員外		②定員外		②定員外						

I 全日制高校について			
	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2021年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2022年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	外国人生徒等に係る入学者の選抜	日本国籍・帰国生徒等に係る入学者の選抜 外国籍・外国人生徒等に係る入学者の選抜	帰国生徒等に係る入学者の選抜
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	3年以内	日本国籍:2年以内 外国籍:3年以内	2年以内
2-3.措置の内容	第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を、国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)並びに面接及び小論文とする。ただし、高等学校長の定めるところにより、第一次選抜学力検査に代えて、各学校で作成する外国人生徒等学力検査を実施することができる。	第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を、国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)並びに面接及び小論文とする。ただし、高等学校長の定めるところにより、第一次選抜学力検査に代えて、各学校で作成する外国人生徒等学力検査を実施することができる。	第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を、国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)の3教科並びに面接及び小論文とする。
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	把握せず

2021年度実施(2022年度入試)調査票

3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした 特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		外国人生徒等に係る入学者の選抜	日本国籍:帰国生徒等に係る入学者の選抜 外国籍:外国人生徒等に係る入学者の選抜	帰国生徒等に係る入学者の選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		3年以内	日本国籍:2年以内 外国籍:3年以内	2年以内
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		63/63	63/63	63/63
3-4.学校名		全ての岐阜県立高等学校 (市立高等学校も含む)	全ての岐阜県立高等学校 (市立高等学校も含む)	全ての岐阜県立高等学校 (市立高等学校も含む)
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)	入学定員とは別に、各校3名程度	日本国籍:帰国生徒等に係る入学者の選抜 外国籍:外国人生徒等に係る入学者の選抜 それぞれの選抜方法で入学定員とは別に、各校3名程度	入学定員とは別に、各校3名程度
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7.試験内容		第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)並びに面接及び小論文とする。ただし、高等学校長の定めるところにより、第一次選抜学力検査に代えて、各学校で作成する外国人生徒等学力検査を実施することができる。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。	日本国籍:第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)の3教科並びに面接及び小論文とする。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。 外国籍:第一次選抜学力検査について5教科(国・数・英・理・社)を国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)並びに面接及び小論文とする。ただし、高等学校長の定めるところにより、第一次選抜学力検査に代えて、各学校で作成する外国人生徒等学力検査を実施することができる。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。	第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)の3教科並びに面接及び小論文とする。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入		外国人生徒枠出願 15人 うち11人合格		帰国生徒枠出願 8人 うち7人合格

II 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南の国生徒	F.海外帰国生徒
1.2021年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	把握せず
2-1.2022年度的一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか？ ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	把握せず
3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)していますか？ ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ高校入学後の状況

<p>1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択</p>	有	
<p>2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック</p>	<input type="checkbox"/>	<p>A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施</p>
	<input type="checkbox"/>	<p>B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施</p>
	<input type="checkbox"/>	<p>C.母語(継承語)保持のための授業の実施</p>
	<input type="checkbox"/>	<p>D.担当教員の加配</p>
	<input type="checkbox"/>	<p>E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用</p>
	<input type="checkbox"/>	<p>F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用</p>
	<input type="checkbox"/>	<p>G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用</p>
	<input type="checkbox"/>	<p>H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)</p>
<p>その他の施策</p>	一部の学校で、適応指導員を配置し、授業の支援等を行う。	
<p>上記に該当する実施校の校数等</p>		
<p>補足事項</p>		
<p>3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入</p>	科目名「日本語」という学校設定科目を、各学年で開講している学校がある。	
<p>4.2021年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入</p>	把握せず	
<p>5.2020年度中に、直接来日後による編入学生の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入</p>	把握せず	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	学校教育法第57条に該当しないため。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	学校教育法第57条に該当しないため。
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2021年度入試において受験(受検)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	把握せず	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受験情報が外国ルーツの保護者や生徒に伝わっていない。 ・進路指導担当者も含め現場の先生方が、外国ルーツの子どもの受験情報を持っていない。 ・外国人の子どものキャリア教育について現場の先生方に関心がない、もしくは、情報が校内で共有されていない。 <p>【制度や手続き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県は9年間の義務教育もしくはそれに準ずる教育の証明書類が必要であるが、最終学歴の証明しか出さない国(教育機関)もある。 ・証明を取ろうとしても閉校になっていた例もある。教育歴の確認のための書類の簡素化してほしい。 ・現在の受験方法では生徒の本来の能力が正しく測られず、日本語能力で進学先が決まってしまうたり進学を諦めるケースもある。 ・生徒の日本語能力によっては入試問題にルビをつけるなどの配慮を検討してほしい。 ・経済的にきびしく奨学金などの情報があるといい。 ・外国人枠の場合、母語での作文や母語の学力をみる機会があるといいし、母語で気持ちを表現できる面接などがあるといい。 <p>【中学校卒業程度認定試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校に在籍がないと国語や社会など高校入試よりも困難な場合がある。母語での学力判定があるといい。 <p>【ガイダンスや情報提供の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも本人にも高校の情報がきちんと伝わらないまま進路決定をしていることがある。生徒の希望するライフプランを聞いて進路指導してほしい。 ・出席日数が足りないことや内申書が影響することなど理解していない。 ・進学時にかかる経済的負担が大きい。 <p>【高校入学後の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内も学校外も非常に支援が少ない。 ・学校と外部団体の連携で支援体制がつけられたらいい ・留年や中退の多さ。学校側の対応策はないのか。 ・高校入学後も相談できる場所が地域にあるとよい。 ・高校進学支援の団体と外国人の多い高校とのネットワークや意見交換会の機会。
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に日本語指導が必要な生徒の受け入れがあった高校 アンファッションカレッジ(多治見市) https://www.tfac.ac.jp/ 聖マリア高校(岐阜市)放課後に日本語補習(週1~2度) 青陵高校(大垣市)中学の復習に時間をかけてくれる
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●わかさ教室(関市国際交流協会) https://www.seki-iea.org/ ●NPO法人美濃加茂国際交流協会 http://miea-jp.com/ ●NPO法人可児市国際交流協会 http://freviakani.jp ●日本語ボランティア「鮎の会」(岐阜市) Tel: 090-9935-8571 E-Mail: nihongo.ayu@gmail.com(藤田) ●CAPCO(カピコ:大垣外国人コミュニティサポートセンター) Tel: 090-8469-2589 E-Mail: capcojp@gmail.com ●Family Planet Japan(高山市) https://www.facebook.com/familyplanetjapan/ ●公財)岐阜市国際交流協会 TEL: 058-263-1741 ●ニホニコ(瑞穂市) Tel: 058-329-1321(朝日大学英語研究室松井先生) https://nihonicogifu.Wixsite.com/nihonico
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>岐阜県教育委員会 http://pref.gifu/site/edu/61428.html 加茂高校定時制(ポルトガル・英語・タガログ語) https://school.gifu-net.ed.jp/kamo-hs/teiji/ 加茂農林高校(英語) https://school.gifu-net.ed.jp/kamo-ahs/</p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>2021年5月に「ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク」を結成しました。 今回の調査のこの支援者欄もメンバーの皆様にご協力いただきました。 外国につながる子どもたちの教育支援など情報共有し、県内の外国につながる子どもたちが支援につながるよう連携していきたいです。</p>